

議員報酬と職員給料の比較（年収）

現 状

※議員報酬は条例に規定、平成9年4月1日適用

令和5年4月1日現在における議員報酬月額
 議員 357,000円（平均年齢56.8歳）
 $\times (12\text{月} + (3.30\text{月} \times \text{加算} 15\%))$
 $\times (12\text{月} + (3.30\text{月} \times \text{加算} 15\%)) = 15.795\text{月}$

《議員》≒年収5,638,815円

令和5年4月1日現在における職員の平均給料月額
 一般行政職 322,100円（平均年齢42.1歳）
 $\times (12\text{月} + 2\text{月} + (2.40\text{月} \times \text{加算} 10\%))$

≒年収5,359,744円（各種手当除く）
 年収差 279,071円

検討①

一般行政職 課長補佐級 平均341,850円
 $\times (12\text{月} + 2\text{月} + (2.40\text{月} \times \text{加算} 10\%))$

≒年収5,688,384円（各種手当除く）
 年収差 ▲45,569円

検討②

一般行政職 課長級 平均364,700円
 $\times (12\text{月} + 2\text{月} + (2.40\text{月} \times \text{加算} 15\%))$

≒年収6,112,372円（各種手当除く）
 年収差 ▲473,557円

（現状）一般職給料表4級（企画 主査級）は職員総数338人中93人27.5%が該当。平均額（※）は323,500円。≒年収差は月額で16,193円。また、左記の平均年齢では、年収差≒月額で17,668円。大野市一般行政職の平均は企画主査級といえる。

（検討①）5級（課長補佐級）の平均額は341,850円となる。職員総数338人中68人18.6%が該当。

⇒年収差を議員報酬に反映させるとすれば
 45,569円 / 15.795月
 ≒2,885円《議員360,000円》

（検討②）6級（課長級）の平均額は364,700円となる。職員数338人中31人9.2%が該当。

⇒年収差を議員報酬に反映させるとすれば
 473,557円 / 15.795月
 ≒29,981円《議員387,000円》

※各級のどこ（何号給）に職員が何人該当しているのかはわからないため、平均額は給料表の最低額、最高額から算出（平均給料月額および職員数は令和4年度大野市人事行政の運営等の状況から）